

ハワイのことばと文化

森 戸 由 久

はじめに

ハワイは日本人が海外旅行の目的地として最も人気がある場所で、毎年100万を超える日本人が訪れている。筆者は1974年に大学英語教育学会（JACET）の海外研究員としてハワイ州ホノルルのイースト・ウエスト・センターで約一年間教材開発のプログラムに参加した。これがきっかけでハワイ、アメリカ本土、カナダにおいて英語圏のことばと文化についてフィールドワークを行ってきた。そして、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、香港、シンガポール、インドの英語について社会言語学的調査を続けている。

本稿はハワイのことばと文化について、ハワイの人種構成とハワイにおける日本文化について論及し、最後にハワイ英語について扱う。

1. ハワイの人種構成

ハワイはハワイ島、マウイ島、オアフ島、カワイ島、モロカイ島、ラナイ島、ニイハウ島、カホオラウェ島の8島とこれらの島に付随する小島から成っている。ホノルルの所在するオアフ島が最も文化的に発達している。

James Cook はハワイ諸島を発見したとき、これらの島々を当時のイギリスの海軍卿の名にちなんで the Sandwich Islands と呼んだ。

ハワイと地理的には熱帯に属するが、trade winds（貿易風）の影響により気

温が摂氏31度（華氏84度）をこえる日はそれほど多くない。

人種的に純粋なハワイ人はポリネシア系ハワイ人で、8世紀頃ハワイに渡ってきたと考えられている。彼等は褐色の皮膚、黒い目、黒い髪をもち、高見山や小錦のような体格をした人が多い。今日混血が進み、ポリネシア系のハワイ語を話す人々は激減している。ポリネシア民族の歴史についてはホノルルのビショップ博物館を訪れるとよい。

ハワイにおける日系アメリカ人の歴史は、1868年の約100人の明治元年移民によって始まったが、官約移民は明治18年（1885年）に944人の日本人が移民としてハワイに到着したことにより始まった。この第1回の官約移民は監督官等を含めると953人で、県別の出身者数は表1のようになる。資料はホノルル日本総領事館調査の報告書による。

①山口県	428
②広島県	222
③神奈川県	214
④岡山県	37
⑤和歌山県	22
⑥三重県	13
⑦静岡県	11
⑧滋賀県	5
⑨宮城県	1

表1 第1回官約日本人移民

当時のアメリカ合衆国は南北戦争後で砂糖の需要が高く、ハワイの砂糖産業は労働力を必要としていた。日本政府は特定の県を移民県と認めて移民を奨励した。

表2は第2回の官約移民の県別の出身者数を示している。合計983人で九州からの移民が増加している。

1960年10月1日の日本国総領事館発表による国勢調査の数字からハワイの出身県別の日系アメリカ人の数は表3のようになる。

オアフ島では盆踊り大会が行われるが福島県人会と山口県人会の人達が中心

①広島県	390
②熊本県	270
③福岡県	149
④滋賀県	74
⑤新潟県	37
⑥和歌山県	33
⑦神奈川県	12
⑧群馬県	10
⑨千葉県	8

表2 第2回官約日本人移民

となっている。盆踊りは7月の初旬から中旬にかけて行われる。

①広島県	4715
②山口県	3918
③沖縄県	2873
④熊本県	2655
⑤福岡県	1080
⑥福島県	880
⑦新潟県	776
⑧和歌山県	183
⑨東京都	172
⑩宮城県	140

表3 1960年度県別日系アメリカ人の人口

1970年代はハワイにおける黄金時代で、ハワイ大学の学長に Masuda 氏、ハワイ知事に Ariyoshi 氏、米国上院議員に Inouye 氏、米国下院議員に Matsunaga 氏が活躍した。ハワイの建築のおおくが日本人の室内様式をとっている。すなわち、玄関で靴をぬぐ習慣はずっと受けつがれてきている。

1882年（明治15年）には労働人口として日本人の元年渡航者の生存者が15人、ハワイ人および混血ハワイ人が2575人、中国人が5037人、ヨーロッパ系の白人が834人、ポルトガル人が637人、その他1145人で、合計10,243人であった。ポルトガル人は船員の人々が多かったようである。その後、1901年からプエルト

リコ人が移民, 1906年からフィリピン人が移民, 1907年からスペイン人が移民してきた。ここでいうヨーロッパ系はポルトガル人とスペイン人を含まないヨーロッパ系の人々をいう。

表4は1939年における人種別の人口を示している。合計は334,587人である。

人 種	人 数	%
①日系	119,361	35.7
②ヨーロッパ系	66,511	19.8
③ハワイ人および混血ハワイ人	63,858	19
④ポルトガル系	29,281	9
⑤中国系	24,573	7
⑥フィリピン系	16,949	5
⑦プエルトリコ系	7,736	2
⑧韓国系	4,462	1
⑨スペイン系	1,007	0.3
⑩その他	849	0.2

表4 1939年度人種別ハワイ人口

表5は1986年度の人種別人口を示している。合計は1022,745人である。表5のヨーロッパ系にはポルトガル系とスペイン系が含まれている。ハワイで使われている Haole [háuli] とか [háulei] と発音されることばは白人を意味する。

人 種	人 数	%
①ヨーロッパ系	239,294	23.4
②日系	235,207	23.0
③ハワイ系	203,355	19.9
④フィリピン系	115,519	11.3
⑤中国系	48,727	4.8
⑥アフリカ系黒人	23,032	2.3
⑦韓国系	13,284	1.3
⑧プエルトリコ系	4,279	0.4
⑨サモア系	3,825	0.4
⑩その他	115,409	11.3

表5 1986年度の人種別ハワイ人口

1980年の Census によるとアメリカ合衆国における日系人の人口は700,974

人であった。中国系アメリカ人はこれより多く、806,040人であった。

County 別では、日系人はホノルルが189,828人で最も多く、続いてロサンゼルスが116,543人、ハワイ島ヒロ24,476、カリフォルニア州サンタクララ21,907、同州オレンジ20,886人になっている。

ハワイの日系人の人口比率を島別に分けると、

ハワイ島 26.59%、カワイ島 25.01%、

オアフ島 24.89%、マウイ島 22.09%のようになる。オアフ島でもマノア地区に日系人多い。

ハワイにおける日系人の人口推移を調べると全体の中に占める率が低下してきていることがわかる。

このことがハワイにおける日本文化の変化にも関連している。

2. ハワイにおける日本文化

日系アメリカ人は長い間、独自の文化をもち、アメリカ化を拒んできた。日本語を使い、日本式の生活様式を維持し、日本学校を設立し、日本本土と同じ教科を教えた。このような日系人に対して1920年代に排日論が起った。日本語学校がアメリカ合衆国の市民の教育機関として機能を果たしていないという見解が米国人の有識者の間に広まった。1927年には米国最高裁において「ハワイの外国語学校は憲法違反である」という判決が出て、日本語学校側は教科内容の改善に努めるようになった。日系人は学歴に重きをおき、彼等は子供に教育を積極的に受けさせた。

第二次世界大戦という不幸な時期があったが、日本の経済復興と経済発展により日系人の地位も向上していった。

ハワイにおける日本文化は大衆的にはアラモアナショッピングセンターの白木屋で享受することができる。このデパートは日本の白木屋が東急デパートに改名されてからも古いのれんを使っている。また、パールリッジにあるダイエーも日本文化の紹介のために各種の文化ショーを行ってきた。学術的にはハワイ大学マノア校が日本語、および日本文化コースを設け、外国のコースの中で日

本語講座が群をぬいて人気があることはいうまでもない。しかしながら、1970年代の日系人の社会的成功の後に、日本語を媒介する文化にかけりが見えはじめた。まず、日本映画をみせる劇場や日本語の新聞や日本語のテレビ局が財政的に危機に陥った。

現在は日系三世の時代であるが、日系一世は日本語だけしか話せず、英語を使うことができない人々が普通であったが、二世は日本語も英語も使える人々が多かった。三世は日本語を耳で聞いて少しわかる程度で、英語が日常語である。四世は日本語がまったく理解できず、英語だけの世代である。ハワイには一世が *bamboo* で、二世が *banana*、つまり中味は西洋人という表現がある。

1970年代には邦字新聞は『ハワイタイムス』と『ハワイ報知』があったが、現在では後者のみになった。しかも、日本語だけでなく英語のページが入っている。日本映画を上映する映画館は1975年頃から少しずつ減り始めて、現在はほとんど残っていない。テレビ放送は13チャンネルに KIKU TV があったが、現在では、チャンネル13として普通は英語放送が中心で、韓国語の番組、週末には日本語の番組を放映している。有線テレビのチャンネル23が日本語番組を送っている。ラジオは KOHO と KZOO の2局があるが、いずれも財政的には困難な状況にある。

ハワイの公共図書館には日本からの出版物がまだ備えられているが、日本語による読者の層はかなり薄くなってきている。

ハワイの日系人の日本語がどんなものであるか筆者は初めてハワイを訪れたとき関心をもった。

ハワイで使われている日本語を観察するためには、口語資料として KOHO と KZOO のラジオ放送番組を利用することができる。文語資料としては日刊紙『ハワイ報知』が利用できる。

ハワイの日本語には次のような特徴がある

(1)日本本土の日本語よりハワイの日本語の方がカタカナ語が多い。本土の日本語では、「シャワー」は「お風呂のシャワー」を指すが、ハワイの日本語では、「お風呂のシャワー」の他に「にわか雨」を指す。天気情報では「ホノルルー

帯殆んど晴れ，所によって朝夕シャワー」のように使う。ハワイの人は「パーキングはバリデード致します」のようにいうが，バリデードは日本人にはなじみが薄い単語である。これは，validate のカタカナ語で「保証する」に対応する。次によく使われているカタカナ語を列挙する。

エアポート (<airport)	「空港」
ベネフィット (<benefit)	「付加給付」
キャッシャー (<cashier)	「レジ係」
ディナー (<dinner)	「夕食」
ディシュウォーシャー (<dishwasher)	「皿洗い係」
ヘルパー (<helper)	「給士」
ハズバン (<husband)	「夫」
ハウスキーピング (<housekeeping)	「家事」
ハウスシッター (<housesitter)	「留守番」
セールスクラーク (<sales clerk)	「店員」
ストレージ (<storage)	「倉庫」
ウォランティ (<warranty)	「保証」

(2)ハワイの日本語の方が英語の原音に近いカタカナ語を使う。日本語では「コック」はオランダ語の kok から由来しているが，ハワイでは「クック」を使う。『ハワイ報知』の広告欄にはキッチンクック募集の広告が必ず出ている。

(3)ハワイの日本人には日本語の方言を使う人がいる。このことは彼等の祖先が多く中国地方，九州地方，沖縄から来ていることからこれらの方言が使われているのはごく自然なことである。ある若い男性のガイドは「はばかりに行く人いますか」といっていた。「白菜」のことを「まき菜」といっている人もいる。「まき菜」は「巻き菜」のことで，西日本の方言から入ったものであろう。カリフォルニアでは pokchoy とか bokchoy と呼んでいる。英語では Chinese cabbage と呼んでいる。

(4)また，日系人の日本語にはていねい表現とくだけた表現がうまく使い分けられていないことが多い。レストランで男性のウェイターが客に「何する」と

注文をとっていたりする。

3. ハワイ英語

ハワイには多くの人種が生活して、ある保健所では掲示を英語、日本語、韓国語、サモア語で行っていた。アラモアナショッピングセンターにある MAKAI という所では世界の料理が安い値段で楽しめる。ワイキキ以外の場所でも民族料理店がたくさんある。従って、ハワイは多民族州なのである。

ハワイの英語は特有の発音とイントネーションがある。まず、第一にイントネーションの抑揚が顕著である。例えば Is it OK? は [iz it oʻuke] のように上がり下がりがある。

一般的に語尾の r は弱く発音される。語彙面ではたくさんのハワイ語や日本語からの借入語がある。ハワイ英語には liquid sunshine という表現があるが、ハワイでは「天気雨」のことを指すが、カリフォルニアでは雨の詩的ないいかえ、あるいはおかしくいう場合に使われる。

方向を指すのに西の方は Ewa side といい、東の方は Waikiki side とか、Koko side という。海側はハワイ語の makai を使い、山側は mauka を使う。トイレでハワイ語の KANE (男), WAHINE (女) を使っている所もある。

バスの中には “While on the Bus please kokua.” とある。kokua はハワイ語で help や cooperate にあたる。よくパーティーのメモで “Pupu and refreshments served” と書いてある。pupu はハワイ語で snack の意味である。

ハワイの貸室やアパートの広告には lanai ということばがよく目につく。これは balcony とか veranda の意味である。ポリネシア特有の食べ物 poi や laulau, また宴会 luau はよく使われる。

ハワイで the Big Island といえば the Island of Hawaii でハワイ島、現地の日系人はハワイしまと呼んでいる。オアフ島の裏の地域は Windward Oahu といい、日系人は裏オアフと呼んでいる。

日本語でシイラという魚はハワイ語で mahimahi, 英語では dolphin dorado という。

日本語の弁当は bento, 料理用の「火ばち」は hibachi, 「おもち」は omochi, 「おかず」は okazu として英語の中に入った。「照焼き」は teriyaki として teriyaki burger ということばでアメリカ合衆国全土に広まっている。ハワイにある okazuya は弁当や総菜を売る店である。

ハワイのお店には CATERING SERVICE と書いてあるがこれは出前サービスをするということである。これは日本のお店がよく出前をやる商法がハワイでも行われているものであろう。

インスタント食品に saimin というハワイ風ラーメンがあるが、スープは海草を使っているといわれている。このことばは中国語の細麺からきている。

ハワイには愛嬌のある gecko というヤモリがいるが、語源はマレー語である。

多言語で多文化のハワイの中で今後日系人がどのようににおいて日本文化を維持していくか筆者は強い興味をもっている。

参考文献

ハワイ日本人移民史刊委員会編『ハワイ日本人移民史』(1964)

ハワイ日系人連合協会

『ハワイくらしの便利帳』(1989) イースト・ウエストジャーナル

『アロハ年鑑』(1988) ハワイ報知社